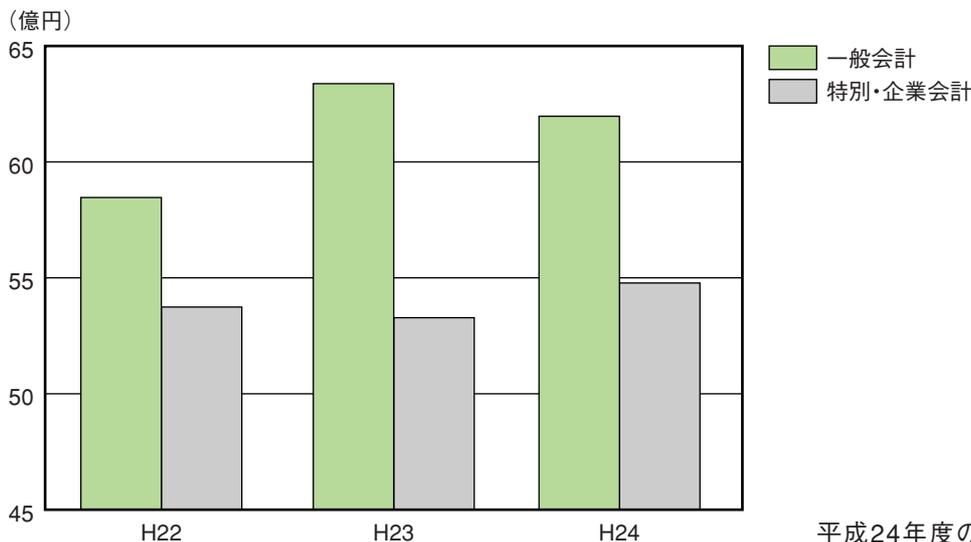


笠松町の財政状況

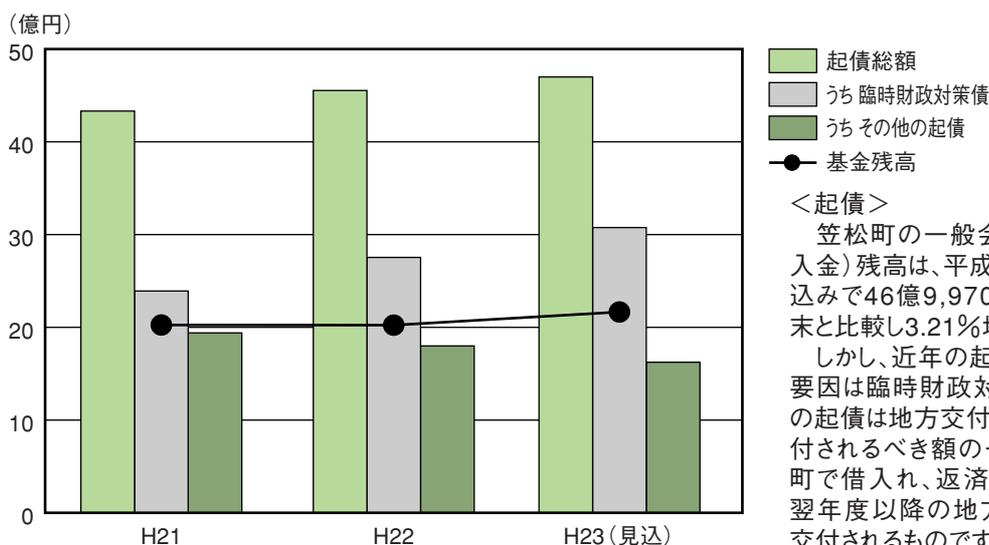
予算額の推移



	H22	H23	H24
一般会計	58億4,643万円	63億3,750万円	61億9,700万円
特別・企業会計	53億7,422万円	53億2,813万円	54億7,775万円
計	112億2,065万円	116億6,563万円	116億7,475万円

平成24年度の当初予算は、一般会計で前年度と比較し2.22%減の61億9,700万円となります。特別・企業会計では、医療費や下水道工事費などの増加により2.81%増の54億7,775万円となり、笠松町全体としては前年度とほぼ同額の116億7,475万円となります。

一般会計の起債残高および基金残高



	H21	H22	H23(見込)
起債総額	43億3,176万円	45億5,351万円	46億9,970万円
うち臨時財政対策債	23億9,173万円	27億5,396万円	30億7,590万円
うちその他の起債	19億4,003万円	17億9,955万円	16億2,380万円
基金残高	20億2,530万円	20億2,368万円	20億4,085万円

<起債>
笠松町の一般会計の起債(借入金)残高は、平成23年度末の見込みで46億9,970万円の前年度末と比較し3.21%増となります。

しかし、近年の起債残高の増加要因は臨時財政対策債であり、この起債は地方交付税として町に交付されるべき額の一部をいったん町で借入れ、返済金額相当分が翌年度以降の地方交付税として交付されるものです。

そのため、実質的な起債残高(その他の起債)は減少傾向にあるといえます。

<基金>
笠松町の一般会計の基金(貯金)残高は、平成23年度末の見込みで20億4,085万円の前年度末と比較し0.8%増となります。